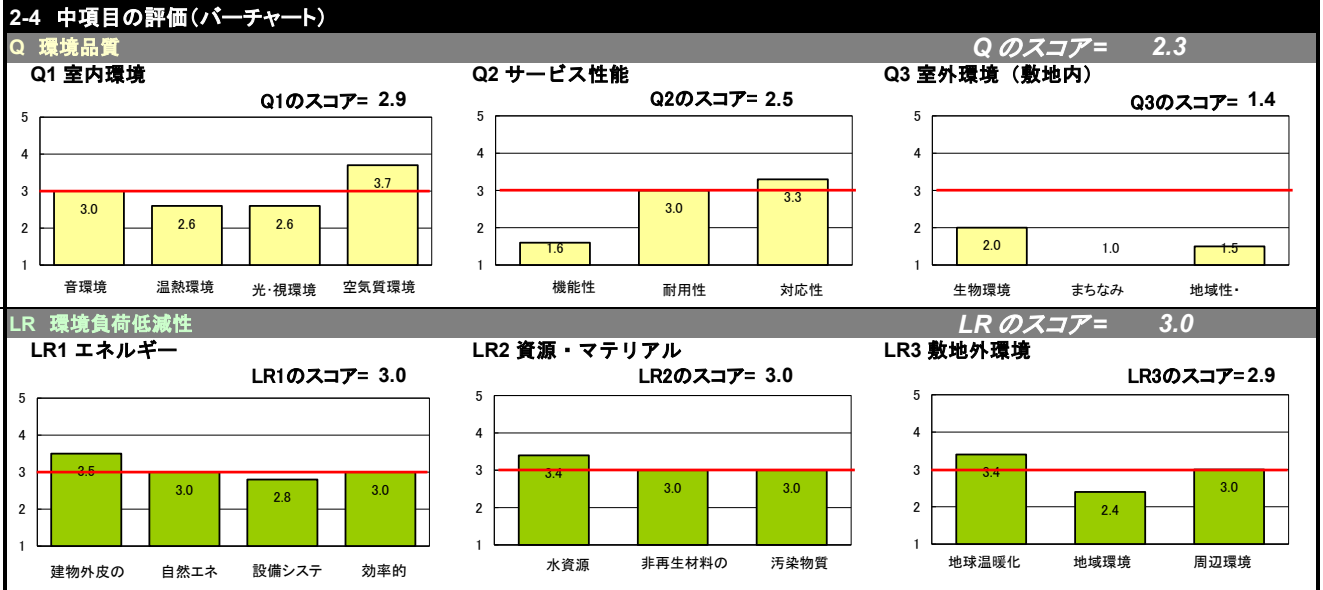
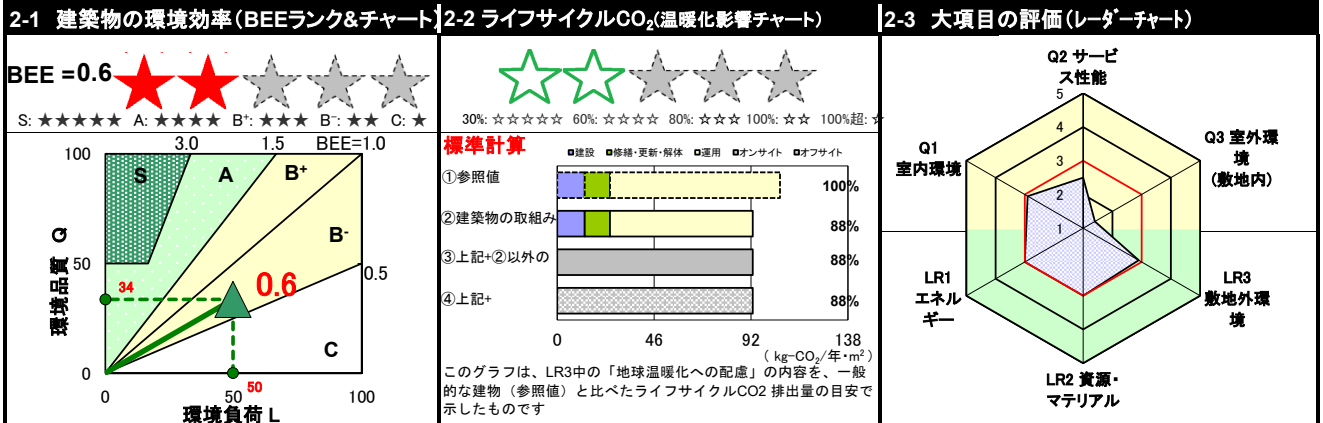




1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)Dスタ横浜鶴見プロジェクト 新築工事	階数	地上5F
建設地	神奈川県横浜市鶴見区寛政町41-2	構造	S造
用途地域	工業地域、準防火地域	平均居住人員	120 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集会所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年12月 予定	評価の実施日	2022年11月21日
敷地面積	1,583 m ²	作成者	大和ハウス工業㈱関東横浜建築一級建築士事務所 齋藤 敏
建築面積	1,054 m ²	確認日	2022年11月21日
延床面積	4,208 m ²	確認者	大和ハウス工業㈱関東横浜建築一級建築士事務所 齋藤 敏



3 設計上の配慮事項		
総合		その他
西日対策として、西側に壁面緑化を行っている。		0
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
F★★★★の建材をほぼ全面的に採用し、喫煙室を設置するなど、室内環境の向上に努めている。	壁長さ比率を低く設計をしている。	外構緑化指数35.5%とし、敷地内環境の向上に努めている。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
BPI _m =0.93、BEI _m =0.84としている。	節水型機器やLGS下地を採用している。	ライフサイクルCO ₂ 排出率88%としている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい



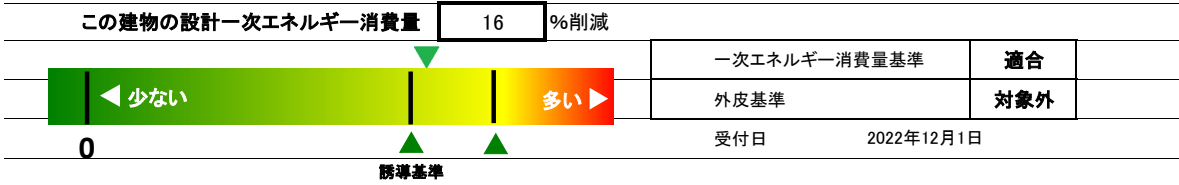
4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <非住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。

建物名称 (仮称)Dスタ横浜鶴見プロジェクト
新築工事

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 3

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

①BPI_m=0.93

③BEI_m=0.84

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) 【快適・働きやすさ】 2

■室内環境対策 (⑨温熱環境対策 ⑩光環境 ⑪空気質環境)

⑩F☆☆☆☆の建材をほぼ全面的に採用

⑪喫煙室を設置し、適切に排気を行っている

■機能性対策 (⑫機能性 ⑬知的生産性向上の取組)

■室外環境(敷地内)対策 (⑭敷地内温熱環境の向上)

防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) 【防災】 3

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

⑰空調・給排水配管の更新対策に配慮

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 1

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

太陽光発電などの導入

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

エネルギーマネジメントシステム導入



CASBEE横浜2022年版v.1.0
 (仮称)Dスタ横浜鶴見プロジェクト 新築工事

バージョン CASBEE横浜2022年版v.1.0

スコアシート	実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	配慮項目	<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数		
Q 建築物の環境品質									2.3
Q1 室内環境									2.9
1 音環境					3.0	0.15	-	-	3.0
1.1 騒音					3.0	0.40	-	-	-
1.2 遮音					3.0	0.40	-	-	-
1 開口部遮音性能					3.0	1.00	-	-	-
2 界壁遮音性能					-	-	-	-	-
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					-	-	-	-	-
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					-	-	-	-	-
1.3 吸音					3.0	0.20	-	-	-
2 温熱環境					2.6	0.35	-	-	2.6
2.1 室温制御					3.0	0.50	-	-	-
1 室温					快適・働きやすさ ⑨温熱環境	3.0	0.38	-	-
2 外皮性能					快適・働きやすさ 健康・安心 ⑨温熱環境 ⑤外皮性能	3.0	0.25	-	-
3 ゾーン別制御性					快適・働きやすさ ⑨温熱環境	3.0	0.38	-	-
2.2 湿度制御					快適・働きやすさ ⑨温熱環境	1.0	0.20	-	-
2.3 空調方式					快適・働きやすさ ⑨温熱環境	3.0	0.30	-	-
3 光・視環境					2.6	0.25	-	-	2.6
3.1 屋光利用					1.8	0.32	-	-	-
1 屋光率					快適・働きやすさ ⑩光環境	1.0	0.60	-	-
2 方位別開口					快適・働きやすさ ⑩光環境	-	-	-	-
3 屋光利用設備					快適・働きやすさ ⑩光環境	3.0	0.40	-	-
3.2 グレア対策					-	-	-	-	-
1 屋光制御					快適・働きやすさ ⑩光環境	-	-	-	-
3.3 照度					快適・働きやすさ ⑩光環境	3.0	0.20	-	-
3.4 照明制御					快適・働きやすさ ⑩光環境	3.0	0.48	-	-
4 空気質環境					3.7	0.25	-	-	3.7
4.1 発生源対策					4.0	0.50	-	-	-
1 化学汚染物質					快適・働きやすさ ⑪空気質環境	4.0	1.00	-	-
4.2 換気					3.0	0.30	-	-	-
1 換気量					快適・働きやすさ ⑪空気質環境	3.0	0.33	-	-
2 自然換気性能					快適・働きやすさ ⑪空気質環境	3.0	0.33	-	-
3 取り入れ外気への配慮					快適・働きやすさ ⑪空気質環境	3.0	0.33	-	-
4.3 運用管理					4.0	0.20	-	-	-
1 CO ₂ の監視					快適・働きやすさ ⑪空気質環境	3.0	0.50	-	-
2 喫煙の制御					快適・働きやすさ ⑪空気質環境	5.0	0.50	-	-
Q2 サービス性能					-	0.30	-	-	2.5
1 機能性					1.6	0.40	-	-	1.6
1.1 機能性・使いやすさ					1.0	0.40	-	-	-
1 広さ・収納性					快適・働きやすさ ⑫機能性	-	-	-	-
2 高度情報通信設備対応					快適・働きやすさ ⑫機能性	-	-	-	-
3 バリアフリー計画					快適・働きやすさ ⑫機能性	1.0	1.00	-	-
1.2 心理性・快適性					1.0	0.30	-	-	-
1 広さ感・景観					快適・働きやすさ ⑫機能性	-	-	-	-
2 リフレッシュスペース					快適・働きやすさ ⑫機能性	-	-	-	-
3 内装計画					快適・働きやすさ ⑫機能性	1.0	1.00	1.0	-
1.3 維持管理					3.0	0.30	-	-	-
1 維持管理に配慮した設計					快適・働きやすさ ⑫機能性	3.0	0.50	-	-
2 維持管理用機能の確保					快適・働きやすさ ⑫機能性	3.0	0.50	-	-
2 耐用性・信頼性					3.0	0.30	-	-	3.0
2.1 耐震・免震					3.0	0.50	-	-	-
1 耐震性					防災 ⑬耐震・免震	3.0	0.80	-	-
2 免震・制振性能					防災 ⑬耐震・免震	3.0	0.20	-	-
2.2 部品・部材の耐用年数					3.1	0.30	-	-	-
1 躯体材料の耐用年数					防災 ⑭部品・部材の耐用年数向上	-	-	-	-
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔					防災 ⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.25	-	-
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔					防災 ⑭部品・部材の耐用年数向上	2.0	0.13	-	-
4 空調換気ダクトの更新必要間隔					防災 ⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.13	-	-
5 空調・給排水配管の更新必要間隔					防災 ⑭部品・部材の耐用年数向上	5.0	0.25	-	-
6 主要設備機器の更新必要間隔					防災 ⑭部品・部材の耐用年数向上	2.0	0.25	-	-
2.4 信頼性					3.0	0.20	-	-	-
1 空調・換気設備					防災 ⑯信頼性	3.0	0.20	-	-
2 給排水・衛生設備					防災 ⑯信頼性	3.0	0.20	-	-
3 電気設備					防災 ⑯信頼性	3.0	0.20	-	-
4 機械・配管支持方法					防災 ⑯信頼性	3.0	0.20	-	-
5 通信・情報設備					防災 ⑯信頼性	3.0	0.20	-	-
3 対応性・更新性					3.3	0.30	-	-	3.3
3.1 空間のゆとり					4.0	0.30	-	-	-
1 階高のゆとり					-	-	-	-	-
2 空間の形状・自由さ					4.0	1.00	-	-	-
3.2 荷重のゆとり					3.0	0.30	-	-	-
3.3 設備の更新性					3.0	0.40	-	-	-
1 空調配管の更新性					3.0	0.20	-	-	-
2 給排水管の更新性					3.0	0.20	-	-	-
3 電気配線の更新性					3.0	0.10	-	-	-
4 通信配線の更新性					3.0	0.10	-	-	-

CASBEE[®]横浜 | 評価結果 | 4-089



CASBEE横浜2022年版v.1.0
 (仮称)Dスタ横浜鶴見プロジェクト 新築工事

バージョン CASBEE横浜2022年版v.1.0

スコアシート		実施設計段階						
配慮項目		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
	5 設備機器の更新性			3.0	0.20	-	-	-



CASBEE横浜2022年版v.1.0
 (仮称)Dスタ横浜鶴見プロジェクト 新築工事

バージョン CASBEE横浜2022年版v.1.0

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-			-
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.32	-	-			1.4
1	生物環境の保全と創出		地域・まちづくり	⑩生物環境の保全と創出	2.0	0.30	-	-	2.0	
2	まちなみ・景観への配慮		地域・まちづくり	⑨まちなみ・景観への配慮	1.0	0.40	-	-	1.0	
3	地域性・アメニティへの配慮				1.5	0.30	-	-	1.5	
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		地域・まちづくり	⑫地域性への配慮	1.0	0.50	-	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		快適・働きやすさ	⑭敷地内温熱環境の向上	2.0	0.50	-	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-			3.0
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-			3.0
1	建物外皮の熱負荷抑制		省エネルギー性能	①建物の熱負荷抑制	3.5	0.20	-	-	3.5	
2	自然エネルギー利用		省エネルギー性能	②自然エネルギー利用	3.0	0.10	-	-	3.0	
3	設備システムの高効率化		省エネルギー性能	③設備システムの高効率化	2.8	0.50	-	-	2.8	
4	効率的運用				3.0	0.20	-	-	3.0	
	集合住宅以外の評価				3.0	1.00	-	-	-	
4.1	モニタリング		省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	1.00	-	-	-	
4.2	運用管理体制		省エネルギー性能	④効率的運用	-	-	-	-	-	
	集合住宅の評価				-	-	-	-	-	
4.1	モニタリング		省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	-	-	-	-	
4.2	運用管理体制		省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-			3.0
1	水資源保護				3.4	0.20	-	-	3.4	
1.1	節水				4.0	0.40	-	-	-	
1.2	雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無				3.0	0.70	-	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.30	-	-	-	
2	非再生性資源の使用量削減				3.0	0.60	-	-	3.0	
2.1	材料使用量の削減				2.0	0.10	-	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.20	-	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用				3.0	0.20	-	-	-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				3.0	0.20	-	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材				2.0	0.10	-	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み				4.0	0.20	-	-	-	
3	汚染物質含有材料の使用回避				3.0	0.20	-	-	3.0	
3.1	有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.30	-	-	-	
3.2	フロン・ハロンの回避				3.0	0.70	-	-	-	
1	消火剤				-	-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)				3.0	0.50	-	-	-	
3	冷媒				3.0	0.50	-	-	-	
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-			2.9
1	地球温暖化への配慮				3.4	0.33	-	-	3.4	
2	地域環境への配慮				2.4	0.33	-	-	2.4	
2.1	大気汚染防止				3.0	0.25	-	-	-	
2.2	温熱環境悪化の改善				2.0	0.50	-	-	-	
2.3	地域インフラへの負荷抑制				2.7	0.25	-	-	-	
1	雨水排水負荷低減				3.0	0.25	-	-	-	
2	汚水処理負荷抑制				3.0	0.25	-	-	-	
3	交通負荷抑制				3.0	0.25	-	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制				2.0	0.25	-	-	-	
3	周辺環境への配慮				3.0	0.33	-	-	3.0	
3.1	騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-	-	
1	騒音				3.0	0.50	-	-	-	
2	振動				3.0	0.50	-	-	-	
3	悪臭				-	-	-	-	-	
3.2	風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40	-	-	-	
1	風害の抑制				3.0	0.70	-	-	-	
2	砂塵の抑制				1.0	-	-	-	-	
3	日照障害の抑制				3.0	0.30	-	-	-	
3.3	光害の抑制				3.0	0.20	-	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				3.0	0.70	-	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30	-	-	-	
上記以外の重点項目						-	-			-
<事務用途>						-	-			-
知的生産性向上への取組		快適・働きやすさ		⑬知的生産性向上への取組	-	-	-			-
<住宅用途>						-	-			-
健康と安心						-	-			-
1	化学汚染物質の対策		健康・安心	⑥健康対策	-	-	-			-
2	適切な換気計画		健康・安心	⑥健康対策	-	-	-			-
3	結露・カビ対策		健康・安心	⑥健康対策	-	-	-			-
4	犯罪に備える(共用部の防犯対策)		健康・安心	⑦防犯対策	-	-	-			-